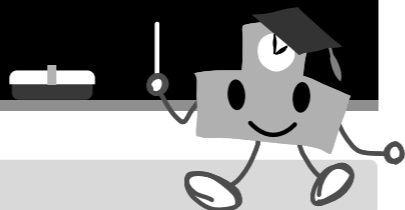


「簡単に・続ける・自分から」を 合言葉に無理なく続けられる活動を。

小学校からの実践を継続し、牛乳パックリサイクルに取り組み、
ごみ減量とリサイクルを学ぶ。簡単に活動でき、
毎日取組める内容で、自主的に行動する人づくりを。



内容 小学校から続く リサイクルの心

給食片付け時に、空になった牛乳パックを水で洗い、
開いて1日ほど乾かし、各学級の体育委員が100枚ず
つに束ね、玄関にある集積カートに入れている。回収
箱が満杯になったら業者に連絡し、回収に来てもらい、
生徒会だよりなどで回収量を報告。中学校で取組ん
でいるところはあまりないが、小学校(札苗北小、中沼
小、札苗緑小)の時からやっていることなので、生徒た
ちは当たり前のように行っている。給食は1年間で約
200回あり、中学校生活3年間では、約600回ものリ
サイクルに参加することになる。「『捨てない』ことで

ごみを減らし、『次の製品に再生する』ことで資源を
守る」を目的として取組んでおり、その取組は札幌市
環境局主催の「第1回こども環境コンテスト」で、優秀
賞を受賞する
など、評価され
ている。



「束ね方」のポスター

効果 大切なのは毎日継続 疑問は関心に

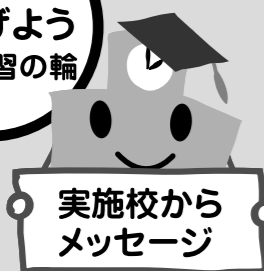
牛乳パックリサイクルは、生徒全員が簡単にリサイ
クル活動に参加することができる。給食のある日は必
ずできる活動であるため、毎日続けられることが利点。
また、どれくらい集まっているのか?という興味から、
なぜ集めるのか?どんなものになるのか?という環
境への関心につながっている。環境活動を定着させ
るためには「簡単に・続ける・自分から」が大切である

と考え、環境に対して自分の
考えをもち、行動を起こす
「人づくり」を目指している。



集積カート

広げよう
つなげよう
環境学習の輪



本校では、この他にも、生徒会だよりでボランティアを募り、放課後や休日を利用して「清掃奉仕活動」を行っています。普段清掃できない場所(体育館ステージ下倉庫、キャットウォーク、職員室前賞状陳列棚、屋上への階段、生徒会室など)や、校区内の公園3ヶ所を清掃。このようなリサイクル活動や清掃活動を始める以前より、校内がきれいになっており、自分たちがきれいにしたのだから、汚さない・ごみを出さないという意識の醸成につながっています。また、活動の成果を生徒会だより等で報告することにより、生徒会への関心をもつきっかけとなり、自分から生徒会活動に参加しようとする意欲が高まっていると感じられます。今後は、現在の活動を維持するとともに、近隣施設などとの交流・清掃・雪かきボランティアなど、地域と連携した取組へと広げていきたいと思っています。

清掃活動



ごみ分別・
資源物回収

リングフル
ペットボトル
キャップ収集

フード
リサイクル
農園

身近な
リサイクル

清掃活動

植樹・花壇

ビオトープ

パネル

委員会
児童会

地域と協働

その他